



## ボリューム測定

ボリューム測定機能を使用すると、アクセスポイント（AP）がクライアントアカウントリング統計情報を組み込みワイヤレスコントローラに対して更新し、さらに RADIUS サーバーに対して更新する間隔を設定できます。現在、レポートは 90 秒ごとに AP からコントローラに送信されます。この機能を使用することで、5～90 秒の時間を設定できます。これにより、デバイスでのアカウントリングデータの使用における遅延が削減されます。

- [ボリューム測定の設定 \(1 ページ\)](#)

## ボリューム測定の設定

ボリューム測定を設定するには、次の手順に従います。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	<b>ap profile profile-name</b> 例： Device(config)# ap profile yy-ap-profile	AP プロファイルを設定し、AP プロファイル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>dot11 24ghz reporting-interval reporting-interval</b> 例： Device(config-ap-profile)# dot11 24ghz reporting-interval 60	dot11 パラメータを設定します。
ステップ 4	<b>dot11 5ghz reporting-interval reporting-interval</b> 例：	dot11 パラメータを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Device(config-ap-profile)# dot11 5ghz reporting-interval 60	
ステップ 5	<b>exit</b> 例： Device(config-ap-profile)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 6	<b>aaa accounting update periodic interval-in-minutes</b> 例： Device(config)# aaa accounting update periodic 75	組み込みワイヤレスコントローラがクラ イアントの中間アカウント更新を RADIUS サーバーに送信する時間間隔 (分単位)を設定します。
ステップ 7	<b>exit</b> 例： Device(config)# exit	コンフィギュレーションモードを終了 し、特権 EXEC モードに戻ります。